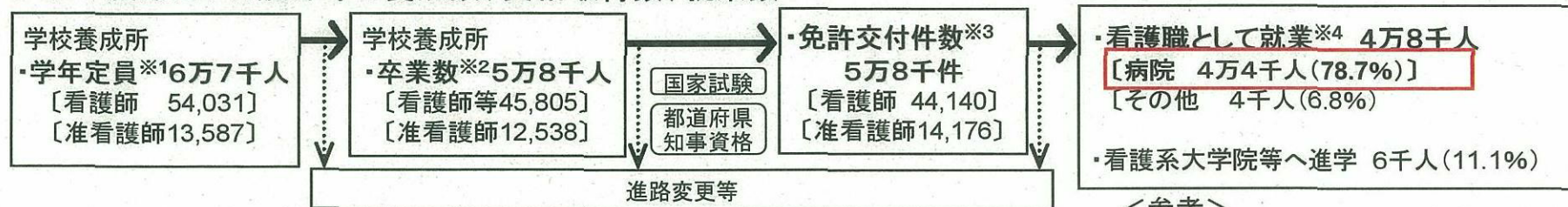


# 16. 看護学生の進路意向と就職先について

## ○ 単年度あたり看護師等の養成数、資格取得数、就業数



## ○ 看護学生の希望

### (1) 進路希望※7

就職 **76.6%**  
 大学院に進学 6.2%  
 その他 17.3%

### (2) 就業場所の希望※7

(複数回答)  
 医療機関 83.3%  
 自治体保健部門 37.2%  
**訪問看護事業所等 19.6%**  
 学校の保健室 15.8%  
 事業所の健康管理室 10.5%

### (3) 就職先の決定条件※8

(複数回答、上位5項目)  
**収入が良い**  
**勤務時間が適当**  
**看護内容への期待**  
 通勤に便利  
 教育研修の充実

## ○ 看護教官が重視する事項※9

(複数回答、上位5項目)

**研修体制が充実している**  
**社会的評価が高い**  
**卒業生が多く就職している**  
 雇用の安定性  
 キャリアアップにつながる

### 【参考】

訪問看護事業の従事者数 2万7千人※10  
 ・平均年齢41.2歳※11  
 ・看護業務経験年数平均15.5年  
 (うち訪問看護業務に平均4.2年従事)

### <参考>

病院への就業者の構成と平均勤務年数

	構成比※5	平均勤務年数※6
大学病院	43.6%	6~7年
公立病院	19.9%	13年
私立病院	17.6%	7~8年
公的病院	13.9%	11~13年

出典

- ※1) 平成18年4月定員〔日本看護協会出版会「看護関係統計資料集」〕
- ※2) 平成18年3月卒業生数〔日本看護協会出版会「看護関係統計資料集」〕
- ※3) 平成17年度交付数〔日本看護協会出版会「看護関係統計資料集」〕
- ※4) 医政局看護課調べ
- ※5) 看護系大学卒業生の進路状況の調査(2001年)日本看護系大学協会
- ※6) 看護の必要度に係る特別調査について等
- ※7) 看護系大学学生の卒業後の進路希望に関する調査(2001年)、日本看護系大学協議会
- ※8) 1992年看護学生の進路選択に関する調査、日本看護協会
- ※9) 2000年看護教育基礎調査、日本看護協会
- ※10) 常勤換算従事者数(平成18年介護サービス施設・事業所調査)
- ※11) 平成16年度訪問看護ステーションにおけるサービス改善に関する調査研究事業(全国訪問看護事業協会)

- 就職を希望する学生のうち、約2割は訪問看護事業者等への就業を望んでいる。
- 学生が就職先を選ぶ条件は、収入、勤務時間、看護内容等であり、看護教官は、研修体制、社会的評価、卒業生の存在等を重視して進路指導を行っている。
- その結果、実際には新卒者の約8割が大学附属病院等の医療機関に就業する。